

2024.09

2024年度 第2四半期 決算 IR資料

2024.11.1

証券コード：8002

将来見通しに関する注意事項： 本資料に掲載されている予測や将来の見通しに関する記述等は、本資料の発表日現在において入手可能な情報やそれをもとにした当社の仮定・判断に基づくものであり、将来の業績を保証するものではありません。よって、実際の業績、結果、パフォーマンス等は、経済動向、市場価格の状況、為替の変動等、様々なリスクや不確定要素により大きく異なる結果となる可能性があります。当社は、本資料の情報の利用により生じたいかなる損害に関し、一切責任を負うものではありません。また、当社は、本資料に掲載されている予測や将来の見通しに関する記述等についてアップデートして公表する義務を負うものではありません。

01 2024年度第2四半期累計期間 連結決算

- 純利益は **2,381億円（前年同期比 -132億円）** 2024年5月2日公表の期初見通しに対する進捗率は**50%**
- 実態純利益は **2,240億円（同比 -200億円）** 同進捗率は**49%**

実態純利益の内訳：

- 非資源分野 1,610億円（同比 -40億円）：航空・船舶、化学品、フォレストプロダクツ等で増益の一方、建機・産機・モビリティ、食料第二、アグリ事業等で減益
- 資源分野 600億円（同比 -110億円）：資源価格下落に伴い原料炭・鉄鉱石事業等で減益

- 基礎営業キャッシュ・フローは **+3,059億円（同比 +395億円）** 同進捗率は**54%**

(億円)	2023年度 Q1-Q2	2024年度 Q1-Q2	増減
純利益	2,513	2,381	-132 (-5%)
実態純利益	2,440	2,240	-200 (-8%)
基礎営業キャッシュ・フロー	+2,664	+3,059	+395 (+15%)
株主還元後フリーキャッシュ・フロー (営業資金の増減等を除く)	△ 512	△ 2,590	-2,078

	2024年3月末	2024年9月末	増減
ネットDEレシオ	0.55倍	0.64倍	+0.09ポイント

* 実態純利益：純利益から一過性要因を控除した概数。一過性要因の明細についてはIR補足資料P3に記載

* 基礎営業キャッシュ・フロー：営業キャッシュ・フローから営業資金の増減等を控除

* 本資料では「親会社の所有者に帰属する持分合計」を「株主資本」と記載

02 2024年度見通し

- 2024年度の純利益および実態純利益の見通しは、期初見通し（2024/5/2公表）から変更なし
- 純利益の見通しは、不測の損失に備えたバッファ△300億円程度を含む

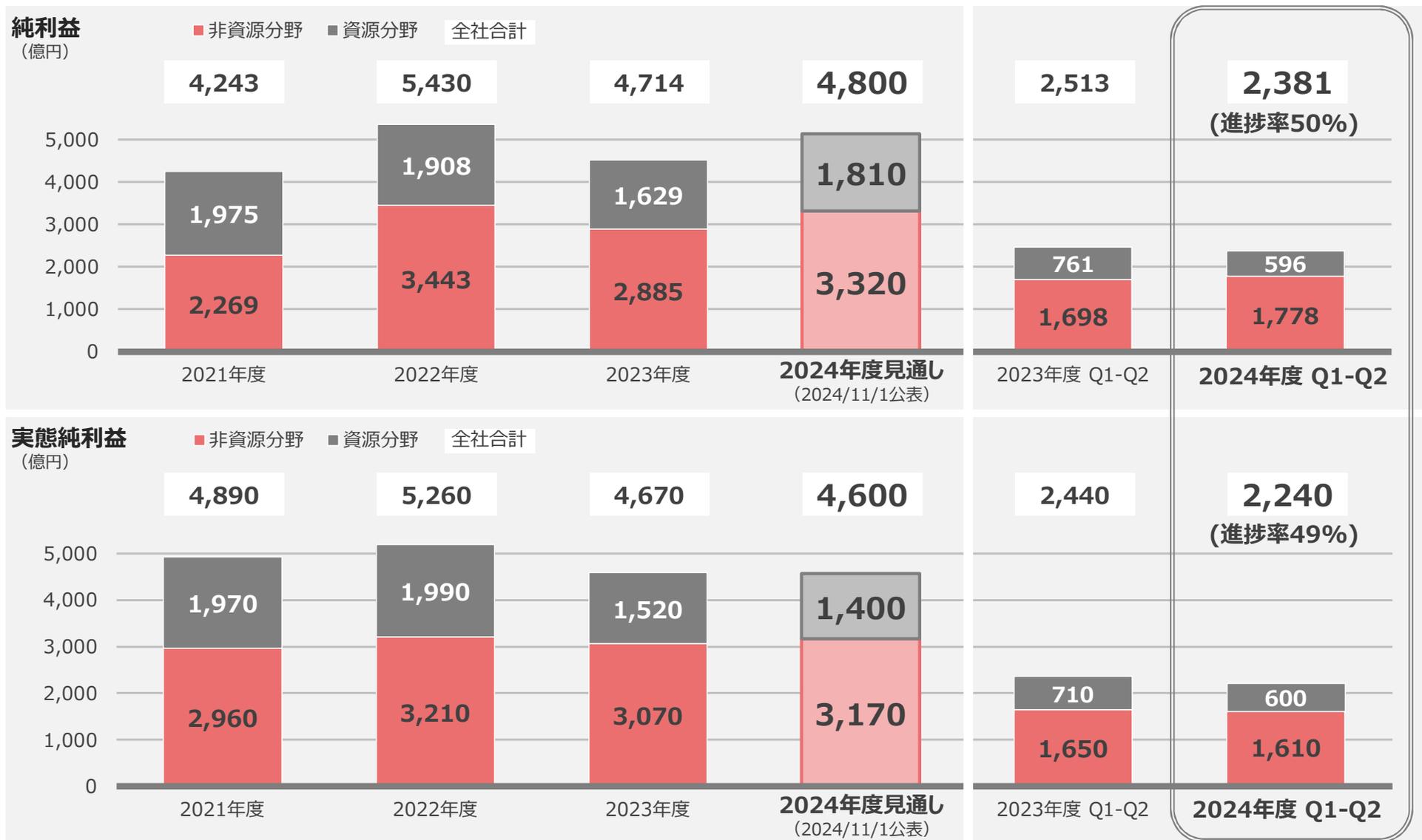
実態純利益の内訳：

- ・ 非資源分野 3,170億円（-40億円下方修正）：電力等で上方修正の一方、アグリ事業、食料第二等で下方修正
- ・ 資源分野 1,400億円（-70億円下方修正）：資源価格下落に伴い鉄鉱石・原料炭事業で下方修正

- 基礎営業キャッシュ・フローは**+5,800億円（+100億円上方修正）**。過去最高値とほぼ同水準の見通し
- 年間配当金予想は1株当たり90円。期初見通しから変更なし

(億円)	2024年度見通し		増減
	2024/5/2 公表	2024/11/1 公表	
純利益	4,800	4,800	±0
実態純利益	4,600	4,600	±0
基礎営業キャッシュ・フロー	+5,700	+5,800	+100
株主還元後フリーキャッシュ・フロー (営業資金の増減等を除く)	△ 1,400	△ 1,400	±0
ROE	15%程度	15%程度	—
ネットDELシオ	0.6~0.7倍程度	0.6~0.7倍程度	—
1株当たり年間配当金	90円 中間45円、期末45円	90円 中間45円、期末(予想)45円	—

03 純利益・実態純利益の推移

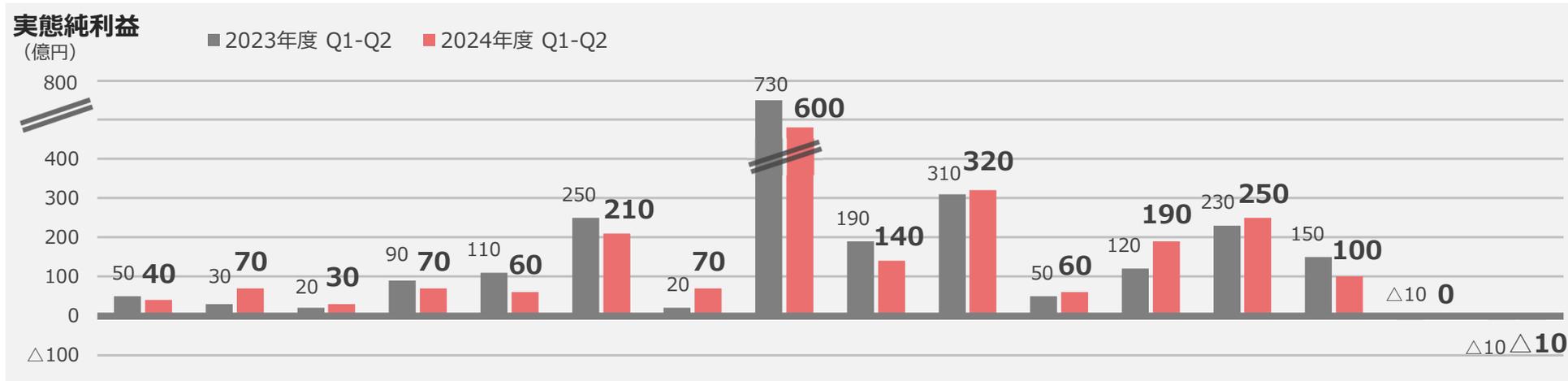
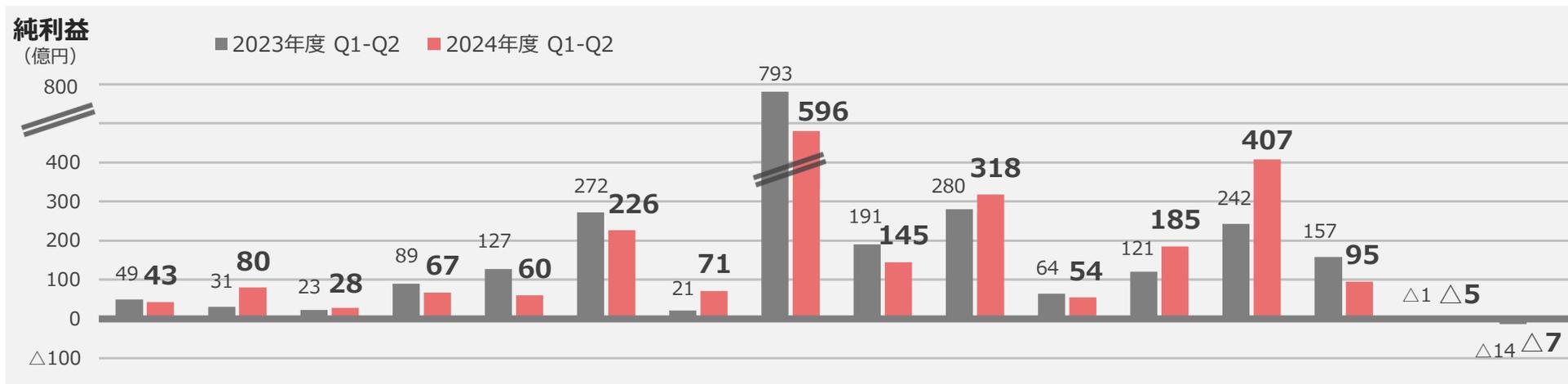


* 資源分野：「エネルギー」と「金属」の合計から鉄鋼製品事業部を控除したもの
 その他分野：「次世代事業開発」と「次世代コーポレートディベロップメント」と「その他」の合計
 非資源分野：全社合計から資源分野とその他分野を控除したもの

* 進捗率は今回公表した通期業績見通しに対する進捗率を表示
 * その他分野 推移

(億円)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度見通し (2024/11/1公表)	2023年度 Q1-Q2	2024年度 Q1-Q2
純利益	△0	79	200	△330	53	8
実態純利益	△40	60	80	30	80	30

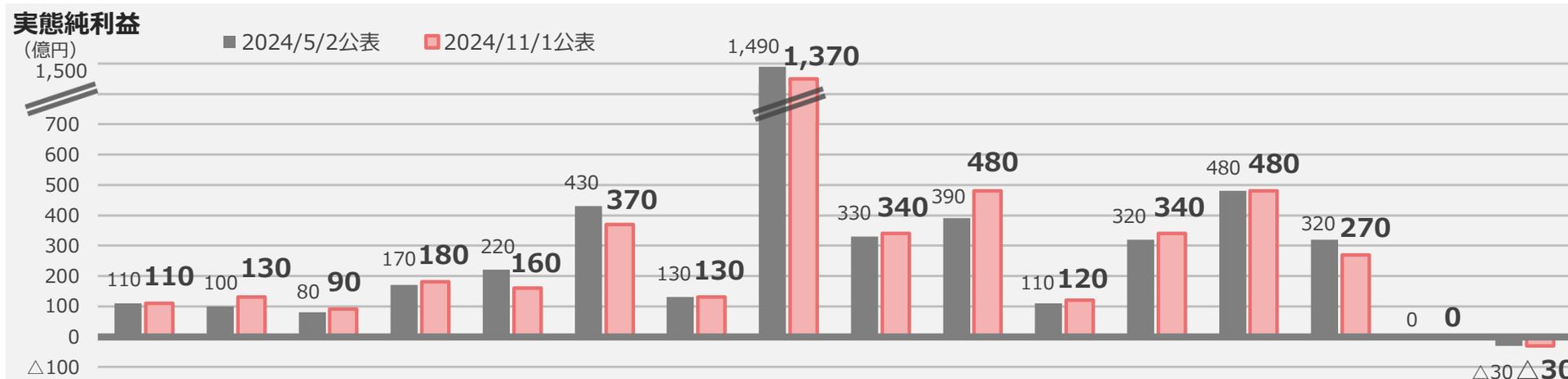
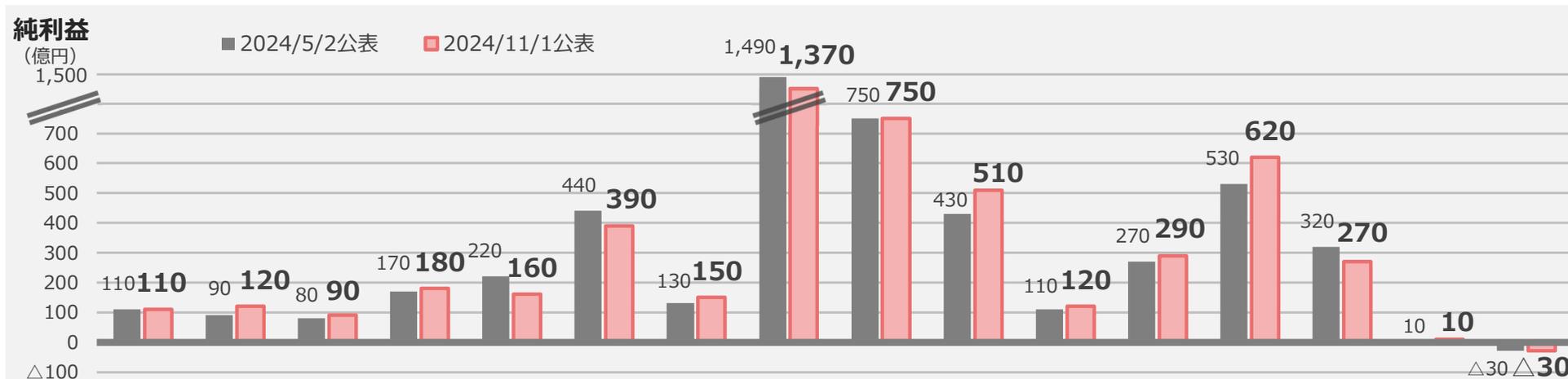
04 セグメント別 損益の状況 2023年度・2024年度 第2四半期累計期間 実績対比



ライフスタイル	フォレストプロダクツ	情報ソリューション	食料第一	食料第二	アグリ事業	化学品	金属	エネルギー	電力	インフラプロジェクト	航空・船舶	金融・リース・不動産	建機・産機・モビリティ	次世代事業開発	次世代コーポレートディベロップメント
生活産業			食料・アグリ			素材産業		エネルギー・インフラソリューション			社会産業・金融		CDIO		

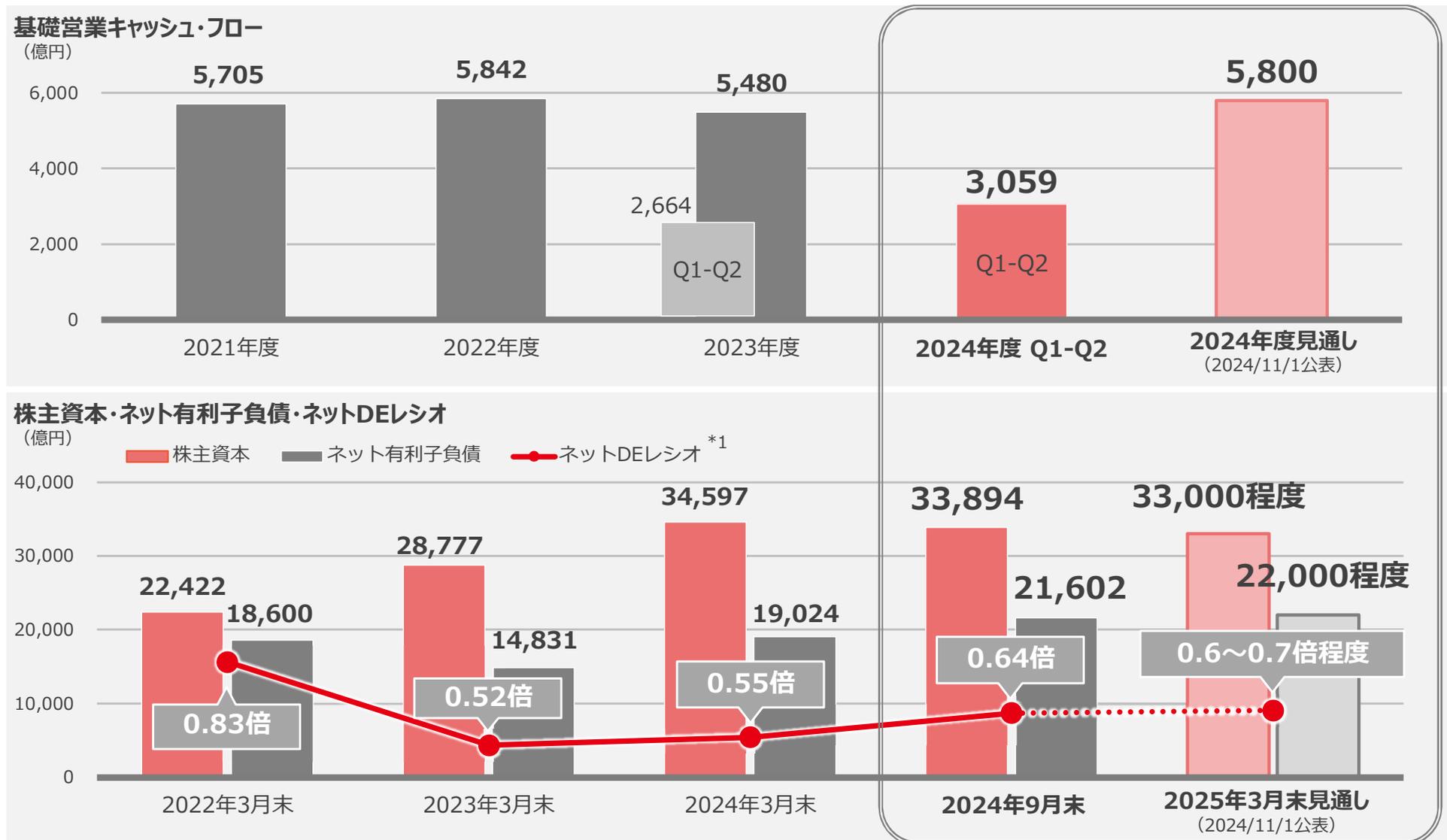
* 2024年度組織ベース。2023年度のオペレーティング・セグメント情報を組み替えて表示。組替内容の詳細についてはIR補足資料P2に記載

05 セグメント別 2024年度見通し 2024/5/2公表・2024/11/1公表 対比



ライフスタイル	フォレストプロダクツ	情報ソリューション	食料第一	食料第二	アグリ事業	化学品	金属	エネルギー	電力	インフラプロジェクト	航空・船舶	金融・リース・不動産	建機・産機・モビリティ	次世代事業開発	次世代コーポレートディベロップメント
生活産業			食料・アグリ			素材産業		エナジー・インフラソリューション			社会産業・金融		CDIO		

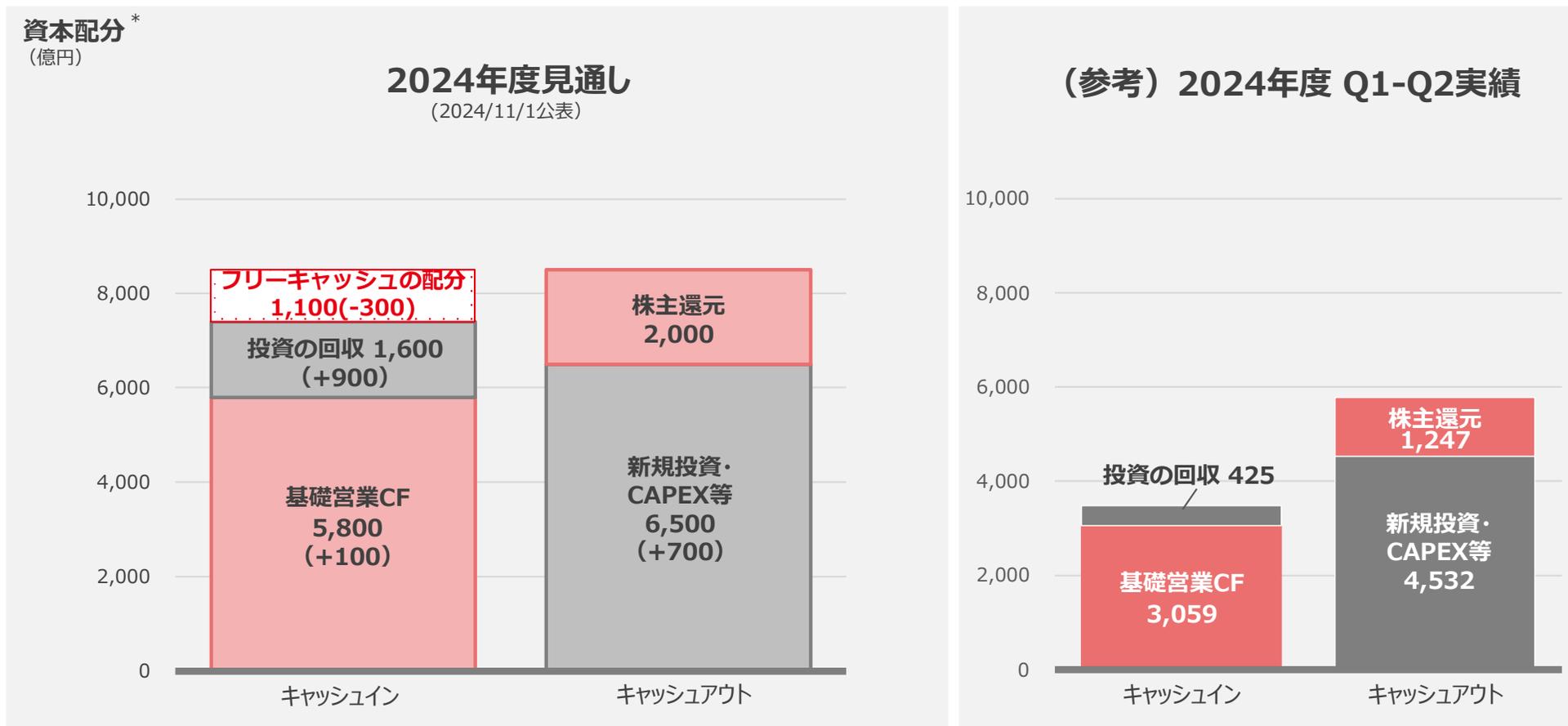
06 基礎営業キャッシュ・フロー及び株主資本とネット有利子負債



*1 2022年度よりネットDEレシオの算出式における分母を「資本合計」から「株主資本」に変更。本資料では2022年3月末のネットDEレシオを置き換えて表示

07 資本配分 2024年度見通し

- 基礎営業キャッシュ・フロー（期初見通し対比+100億円）、投資の回収（同+900億円）を増額。
結果、キャッシュインは合計+1,000億円増額の見通し
- キャッシュインの増額に伴い、新規投資・CAPEX等の成長投資を増額（同+700億円）。
案件パイプラインは豊富であり、優良な案件を厳選の上、成長投資を実施する
- 上記の結果、フリーキャッシュからの配分額は期初見通し対比300億円改善し、1,100億円となる。
キャッシュ・フロー及びバランスシート の状況等も踏まえ、追加の株主還元の実施を検討する



*1 営業資金の増減等を除く。株主還元のうち配当については原資となる利益が帰属する年度での集計であり、キャッシュ・フローと異なる
 *2 ()内は期初見通しからの増減を表す
 *3 2025年3月末のフリーキャッシュ残高は約4,700億円の見通し（期初見通し対比+300億円）

08 新規投資と回収 2024年度第2四半期累計期間 主要案件

(億円)	2024年度 Q1-Q2 実績				2024年度 Q1-Q2 主要案件	2024年度 見通し (2024/11/1公表)
	*1					
	ホライゾン1	ホライゾン2	ホライゾン3			
新規投資+CAPEX等 *2	△4,532	△1,424	△2,797	△311		△6,500
新規投資	△3,014				ホライゾン2 ・スペシャルティ油脂の加工・販売事業（米国 Gemsa社） ・電子部品卸売事業（シンガポール DTDS Technology社） ホライゾン3 ・ライフスタイルブランド運営事業（米国 RG Barry社） ・食品原料・機能性食品素材の製造・販売事業（ベトナム AIG社）	△4,800
セールス&マーケティング事業	△817		△511	△306		
ファイナンス事業	△1,869		△1,863	△5	・フリートマネジメント事業（米国 Donlen（Wheels事業））約US\$5.7億 *3 ・みずほリース株式追加取得（日本 みずほリース社） ・航空機リース事業（米国 Aircastle社）	
安定収益型事業	△75		△75	-	・再生可能エネルギー等発電事業	
資源投資	△253		△253	-	・チリ・センチネラ銅鉱山の拡張プロジェクト	
CAPEX等	△1,518	△1,424	△1,424		・農業資材関連事業（米国 Helena社） *4	△1,700
資源投資関連以外	△1,424	△1,424				
資源投資関連	△94	△0	△94			
回収	+425					+1,600
合計	△4,107					△4,900

*1 ホライゾン1：既存事業の充実、ホライゾン2：既存事業領域の戦略追求、ホライゾン3：現状では取り込めていない成長領域、新たなビジネスモデル

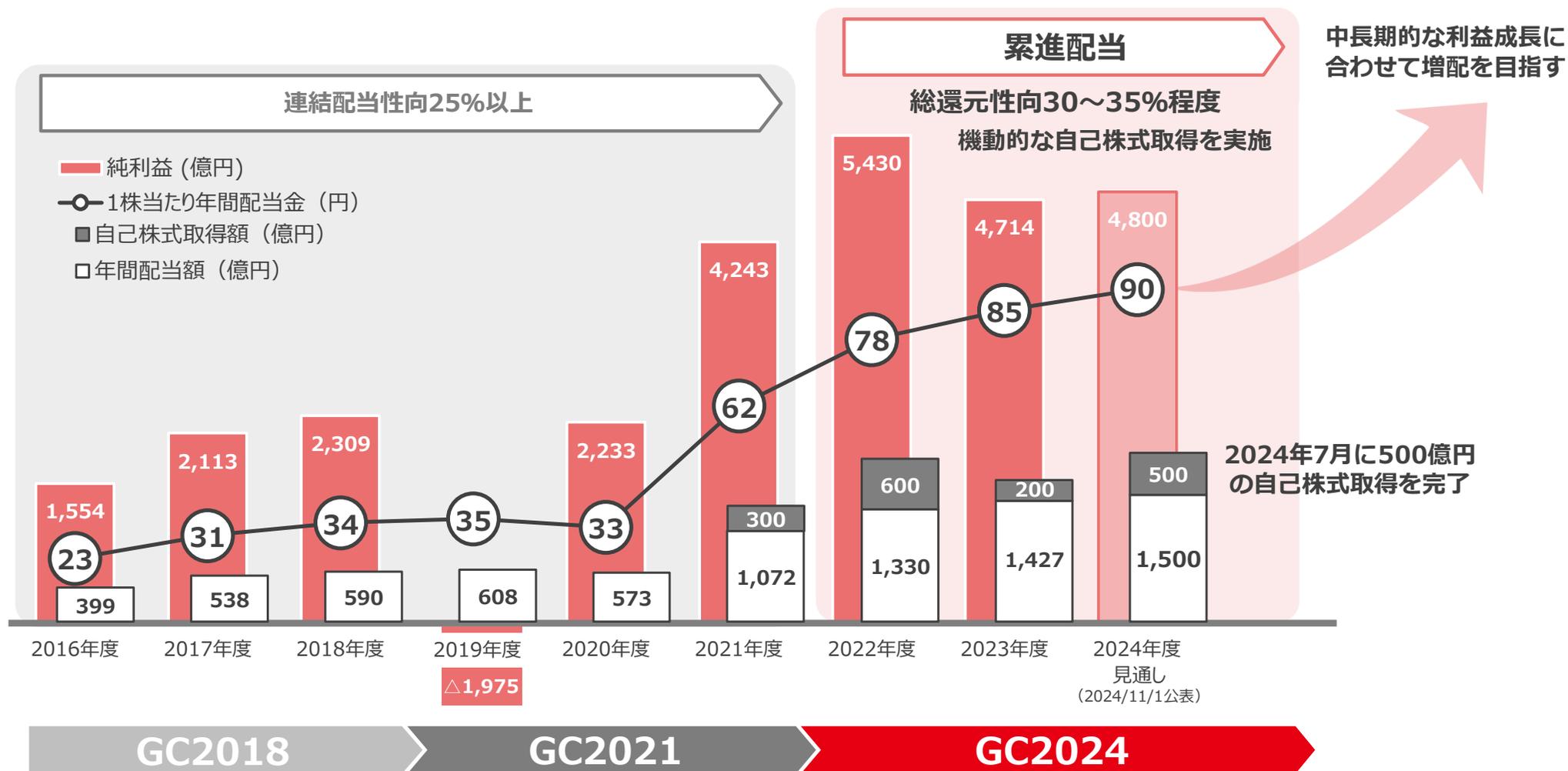
*2 CAPEX等：既存投融資案件の価値を維持・向上するための追加的な設備投資等

*3 キャッシュ・フロー計算書におけるキャッシュアウト額から、パートナーであるLithia社が、当社とLithia社の共同出資会社であるLithia Marubeni Mobility Holding, LLCへ出資した額（約US\$2.1億）を控除した金額

*4 米国Helena社における顧客の農業資金需要に対する短期の貸付金約△700億円を含む

09 株主還元

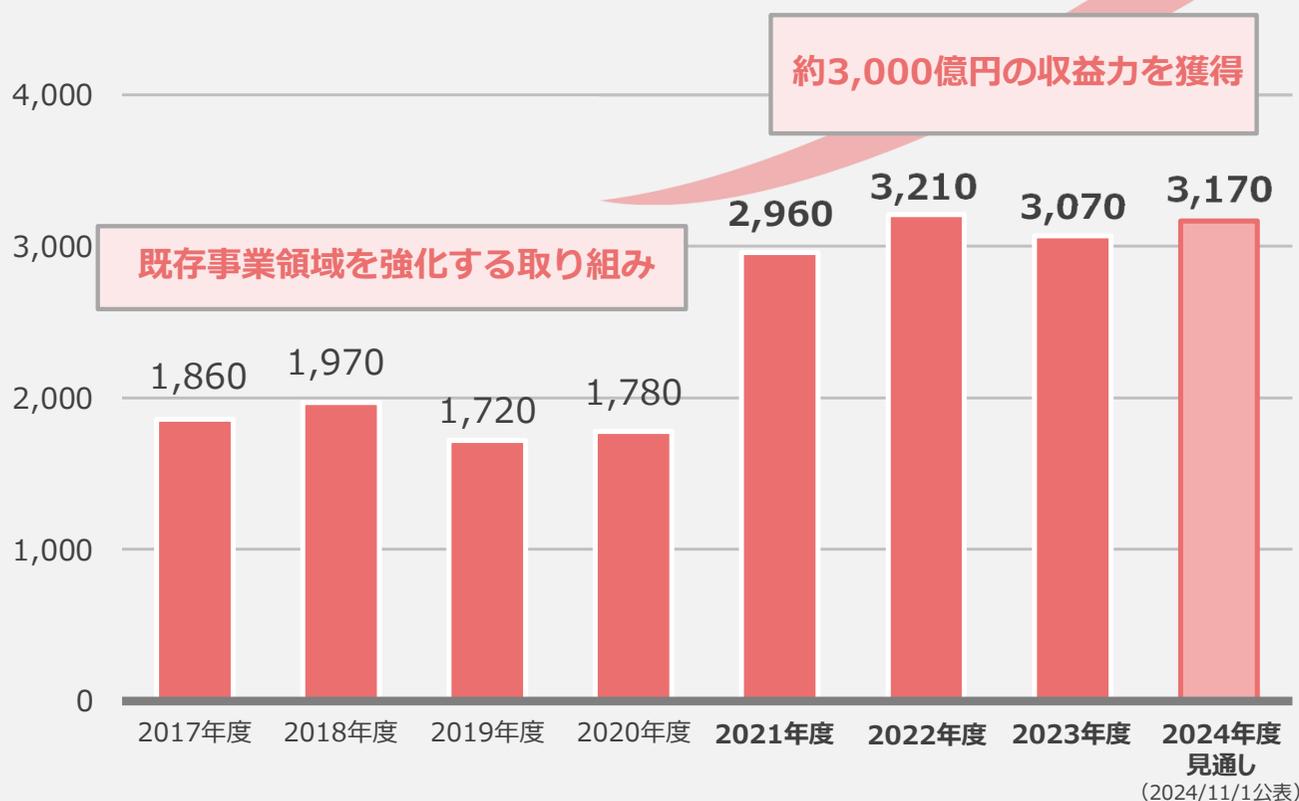
- 収益基盤強化の進捗を踏まえ、2024年度の1株当たり年間配当金は**90円の予想**
- 2024年度は、これまでに蓄積した経営資源の追加配分余地であるフリーキャッシュから**500億円の自己株式取得**を実施済。フリーキャッシュを用いたことから総還元性向の目安30~35%程度を超えて還元（総還元性向の見通し42%）
- 今後キャッシュ・フロー及びバランスシートの状況等も踏まえ、**追加の株主還元の実施を検討する（P7参照）**



10 非資源分野 既存事業領域の強化

- 2024年度見通しにおける非資源分野の実態純利益は3,170億円となり、4年連続で3,000億円程度を達成する見込み
- 引き続き非資源分野を中心に当社が競争力を有する既存事業領域に成長投資を重点配分する。
また将来の収益の柱を育成すべく、新たな事業領域への取り組みを強化

非資源分野 実態純利益
(億円)



戦略の実践による
収益基盤の更なる強化

- 既存事業領域の強化
- 継続的な成長投資

個別事業の競争優位性の強化により、資本効率・事業価値を高めていく

11 GC2024（2022-2024年度）における成長投資

- GC2024の成長投資はこれまで順調に進捗しており、3カ年累計の当初計画1兆円に対し、約1.4兆円となる見通し。ROE15%の目標に向けて案件を厳選して順次取り組んでいる
- 案件のパイプラインは豊富。引き続き財務規律・投資規律を重視しながら、各事業領域における成長戦略を進めていく

GC2024成長投資の基本方針 (3カ年累計の計画：10,000億円+a)		成長投資の金額 (億円・概数)				主な事業領域	取り組み事例 (2022-2024年度)	
		22年度 実績	23年度 実績	24年度 見通し	3カ年 累計			
ホライゾン1 既存事業の充実 競争優位性を有し、 高い収益性を実現している 既存事業領域に 重点的に資本配分し、 収益基盤の強化 を図る 8,000-9,000 億円 ホライゾン2 既存事業領域の 戦略追求		非資源 分野				ライフライン関連 (食料・アグリ等)	・アグリ分野の競争力強化・拠点拡大 ・米国スペシャリティ油脂の加工・販売事業 ・米国Creekstone社の処理頭数拡大・製造効率改善	
			2,000	3,100	5,100	10,200	電力・再生可能エネルギー	・再生可能エネルギー等発電事業
						機械・金融リース (フリートマネジメント等)	・米国フリートマネジメント事業 (Donlen (Wheels事業)) ・米国航空機リースAircastle社への増資 ・国内みずほリース株式追加取得	
		資源 分野	150	500	700	1,350	資源 (拡張投資等)	・チリ銅鉱山事業 既存資産の拡張・権益追加取得
ホライゾン3 White Space 将来の収益の柱を育成すべく、 新たな事業領域への取り組みを 厳選 のうえ実施 1,000-2,000 億円						次世代事業開発・ 次世代コーポレートディベロップメント	・米国ライフスタイルブランド運営事業への出資 ・ベトナム食品原料・機能性食品素材の製造・販売 事業への出資	
			350	1,000	700	2,050	既存事業を起点にした 新たな事業領域への取り組み	・オランダ香辛料・調味料の製造・販売事業の子会社化
合計			2,500	4,600	6,500	13,600		
新規投資			1,300	2,900	4,800	9,000		
CAPEX等			1,200	1,700	1,700	4,600		

12 市況・持分生産量／販売量

市況		2023年度	2024年度	増減	2023年度	2024年度見通し		感応度 *1 (対、年間純利益)
		Q1-Q2 平均	Q1-Q2 平均		通期実績	2024/5/2公表	2024/11/1公表	
原油	WTI価格 (US\$/バレル)	78	78	0	78	75	76 (下期：75)	約4億円/[US\$1/バレル]*2
銅	LME銅価格 (US\$/トン) *3	8,510	9,380	+ 870	8,374	8,650	9,365 (下期：9,350)	約14億円/[US\$100/トン]
金利	円 TIBOR 3M (%)	0.07	0.34	+ 0.27	0.08	0.2	0.5 (下期：0.6)	
	US\$ SOFR 3M (%)	5.25	5.20	- 0.05	5.30	4.5	4.9 (下期：4.5)	
為替	US\$/円 期中平均レート (円)	141.00	152.63	11.63円 円安	144.62	140	147 (下期：140)	約16億円/[1円/US\$]
	US\$/円 期末レート (円)	2024年3月末 151.41	2024年9月末 142.73	前年度末比 8.68円 円高	2024年3月末 151.41	2025年3月末 135	2025年3月末 135	
持分生産量／販売量		2023年度	2024年度	増減	2023年度	2024年度		
		Q1-Q2 実績	Q1-Q2 実績		通期実績	期初計画 (2024/5/2公表)		
石油・ガス	持分生産量 (千バレル相当/日量) *4	10	14	+ 4	11	13		
銅	持分販売量 (千トン)	59	61	+ 2	123			
原料炭	持分販売量 (千トン)	3,003	2,841	- 162	6,141			

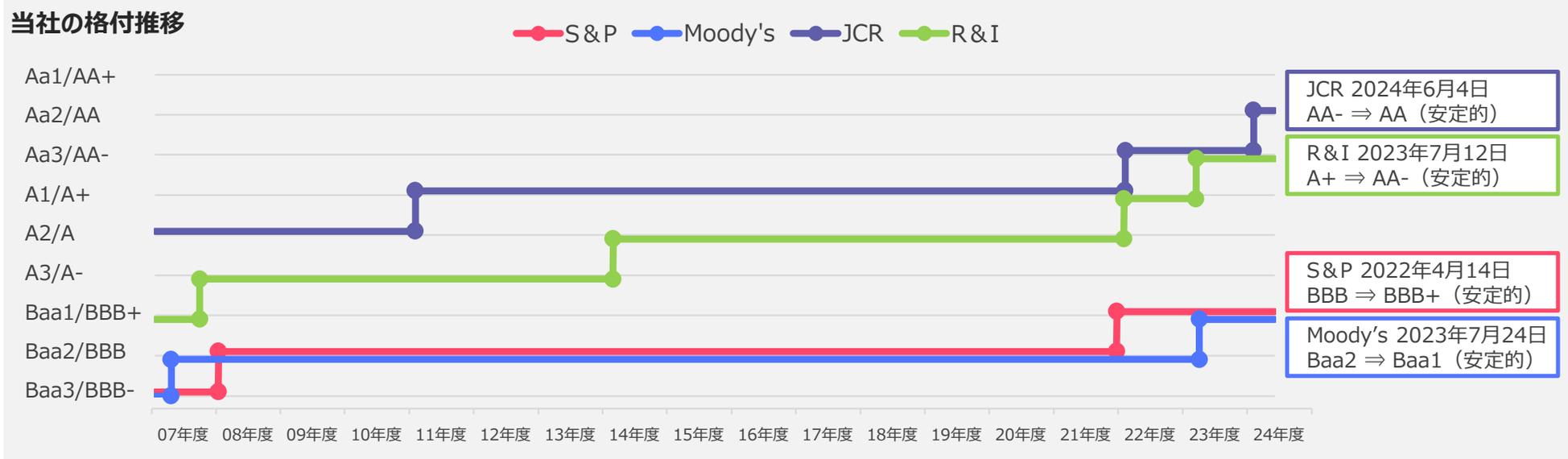
*1 2024年度期初見通しに対する感応度

*2 石油・ガス開発事業における原油価格 (WTI及びBrent) に対する感応度

*3 Q1-Q2は3月～8月、通期は3月～翌年2月の平均価格

*4 米国メキシコ湾、米国陸上、インド沖合における石油・ガス開発事業の合計

参考 当社の株価と格付推移





Global crossvalue platform

Marubeni